

2016(平成 28)年度
事業計画

学校法人 千葉学園

千葉商科大学
千葉商科大学附属高等学校

I. はじめに

今わが国には、経済成長と雇用の確保、少子化問題、医療・福祉、社会保障の充実、地方創生とグローバル化への対応など、解決すべき課題が山積している。

これらの克服には、長期的な展望をもち社会全体がそれぞれの役割と機能を踏まえて連携協力し、政治・経済・文化などあらゆる分野において最新の情報や知識、技術・技能を活用したイノベーションの創出によって社会基盤を再構築していくことが必要であるが、この担い手として期待されるのは未来社会を生きる子供たちであり、資源の乏しいわが国にとって教育・人材育成こそが重要な国家戦略である。

この国家戦略を背景として、昨今の文教政策が大きく転換しつつあり、教育基本法、学校教育法及び私立学校法をはじめとするさまざまな法律や制度の改正、学校法人会計基準や補助金施策等が見直されている。特に、現在検討が進められている「高大接続改革」は、高等学校教育、大学教育及び大学入学者選抜の三つを一体的に改革し、将来に向けてわが国の教育の在り方を抜本的に見直す大改革であり、大学と付属高等学校を有する本学園にとってもその対応は急務である。

このような教育を取り巻く激しい環境変化の中、学園が社会的評価を得るために最重要課題として取り組んでいる第1期中期経営計画（平成26～30年度）は、スタートから早くも2年が経過した。

この間、多くの学園関係者のご理解とご協力により少しずつ成果が現れはじめているが、今年4月、大学及び付属高等学校ともに想定以上の入学者を確保できたことは、この2年間の成果であると言える。

2016（平成28）年度は、第1期中期経営計画の中間点である3年目となる。これまでの進捗状況を点検するとともに、現状分析と将来展望を見据えながら、重点戦略における各目標や取り組み、アクションプランを一部見直すことで、ビジョンと目標の実現に向けて全学をあげて着実に進めていく。

以上のような状況を踏まえて、2016（平成28）年度の事業計画は、次の諸事業に取り組むものとする。

Ⅱ. 主な事業の概要について

千葉商科大学

■重点項目

1. 第1期中期経営計画（3年目）の推進

平成26年度からスタートした第1期中期経営計画（平成26～30年度）は、今年度で3年目となる。中間点として過去2年の進捗状況を分析し、将来展望を見据えながら重点戦略における各取り組みや目標、アクションプランについて必要な見直しを行い、目標の実現に向けて着実に進めていく。

2. 高大接続改革への対応

国の方針として検討が進んでいる「高大接続改革」に対応するため、全学及び各学部・学科の三つのポリシー（アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー）を改定し公表する。さらに各ポリシーを踏まえた教育の質的転換と入試の見直しを第1期中期経営計画に則して進める。

3. 全学基盤教育科目（仮称）の導入に向けた検討と一部実施

第1期中期経営計画で予定している全学基盤教育科目の導入に向けた制度、組織の見直し検討を進める。昨年度は、その準備段階として授業科目の変更及び教員採用のプロセス見直し等、一部実施を始めたものがあるが、今年度はこれらの全般的な見直しに着手する。

■その他項目

1. 教育・研究・国際

学部

- ◇大学として統一した学力の保証
- ◇高大接続改革に対応した三つのポリシーの改定
- ◇カリキュラム改革等の継続的発展による教育力向上
- ◇ゼミ教育の充実
- ◇基礎教育センターの開設による基礎ゼミ再履修クラスの共通化
- ◇シラバスにもとづく授業遂行の徹底
- ◇学生満足度の高い授業の実施
- ◇アクティブ・ラーニングの充実
- ◇大学 IR (Institutional Research) の推進・展開

- ◇付属高等学校・学部・大学院教育の連携強化
- ◇高大連携の積極的推進
- ◇FD・SD活動の全学的推進
- ◇新任教員研修プログラム実施
- ◇資格取得強化、創業支援事業の拡充
- ◇海外の大学との交流促進
- ◇各種プログラムの企画・実施による本学から海外への積極的な学生派遣
- ◇サマープログラムの拡充等による海外からの積極的な学生受入
- ◇インターナショナルスクエア開設による異文化交流の促進
- ◇上海立信会計学院とのダブル・ディグリーのプログラムの発展
- ◇研究活動促進に向けた研究環境整備及び組織力強化
- ◇学内研究支援制度見直し
- ◇学外研究資金獲得強化

大学院

- ◇海外大学・大学院との教育・研究連携の推進
- ◇海外大学大学院と会計ファイナンス研究科間の学位認定プログラムの推進
- ◇会計ファイナンス研究科のカリキュラム変更と国際化対応
- ◇研究論文指導体制の充実強化
- ◇中小企業診断士養成コースの拡充
- ◇大学院・社会人教育センターにおける社会人及び中堅中小企業・小規模事業者等への教育等の展開
- ◇創業支援セミナーの拡充と起業相談窓口の設置
- ◇大学院将来検討プロジェクトの展開と推進
- ◇大学院教育のインターネット展開への研究

2. 学生支援

- ◇教育改革センターを中心とした学生支援の強化
- ◇職員サポーターによる基礎ゼミにおける修学支援
- ◇障がい学生支援検討委員会を設け、組織的な障がい学生支援の実施
- ◇キャリアサポーター制度の推進
- ◇アライアンス企業の拡大と連携強化
- ◇本学独自の奨学制度（経済的支援）による学業継続の促進化
- ◇海外語学研修への参加奨励（参加費の補助制度）
- ◇学生の起業活動支援の強化・推進
- ◇学生自治会の見直し検討
- ◇クラブ活動の支援強化

3. 地域、父母及び同窓会等との連携

- ◇全学的な地域連携推進体制のもとでの地域貢献活動の推進
- ◇市川市、江戸川区等各地域の自治体、NPO 法人等諸団体との連携
- ◇地域活動推進活動室の活用による地域貢献活動の促進
- ◇キッズビジネスタウンをはじめとする効果的な地域社会向けイベントの実施
- ◇CUC 地域連携フォーラム等による地域ニーズの把握や意見交換の場の創出
- ◇正規授業の公開、各種公開講座、履修証明制度を活用した社会人の学び直し講座等の実施
- ◇地域課題の解決を目指す調査研究の助成
- ◇一律加入に伴う教育後援会活動の充実へ向けた支援
- ◇全学保護者会の実施と保護者向け情報誌の発行
- ◇同窓会へのサポート態勢の充実

4. 入試・学生募集・広報活動

- ◇入試制度の継続的な充実強化
- ◇高校生との接点拡大を重視した営業活動の実施
- ◇高校生の接触メディアにあわせた広報の推進
- ◇地方からの志願者獲得に向けた広報活動の強化
- ◇特長ある教育や海外との連携強化など教育に関する取組みを強く打ち出す広報活動
- ◇受験生のニーズにマッチしたオープンキャンパスの拡充
- ◇パブリシティ活動の強化
- ◇メディアリレーションの推進
- ◇インナーコミュニケーションの推進
- ◇WEB・デジタル PR の推進
- ◇公式 WEB サイトの最適化と充実

付属高等学校

■重点項目

生徒・保護者に信頼され愛される学校、地域に信頼され愛される学校、地域に開かれた学校づくりを目指し、社会的評価の向上と持続的発展のために重要な次の5つを指標として設定

1. 入学定員 275 名の確保
2. 千葉商科大学への安定的な進学者数の確保

3. 生徒のニーズ（理工系志望など）に合わせた進学先の充実
4. 学校全体としての教育力・教員個々の教師力の向上
5. 高大接続改革に向けての教育改革

上記の五つの指標を達成するために、次の重点項目を推進する

(1) 施設設備（ハード面）の充実

附属高等学校教育環境検討委員会において、新しい学校づくりの検討を進める

(2) 教育改革（ソフト面）の推進

教育改革の推進を図り、高校の教育力向上を図るため、次の点を強化する

① 実学を重視し、グローバルな見識を持って組織や地域で活躍できる人材の育成

② 附属高等学校としての利点を活かした高大連携の強化・促進

③ 大学等高等教育機関への進学率拡大

④ 授業力の向上

⑤ 行事検討委員会での行事の見直し、e-ポートフォリオの導入、アクティブラーニングの充実

(3) ガバナンス体制及び財務基盤の強化

① ガバナンス体制の強化と機動的な意思決定システムがスムーズに機能するような環境整備

② 教育力・授業力向上を目指し、教員評価制度を導入し、研修制度の充実を図る

③ 教員の戦略的人事を図るため常勤講師制度の活用

④ 高校の経費見直しの実施や臨時的定員増申請などの検討により、改革を支え、社会変動に十分に耐えられる財務基盤の強化

■ その他項目

1. 新カリキュラムの検討・実施
2. 進路指導目標の数値化
3. 生徒指導の充実と徹底
4. 広報活動の充実・拡大
5. 教育効果の向上
6. 学力と検定試験合格率の向上
7. 危機管理システムの充実

管理運営

1. 第1期中期経営計画の継続的推進及び進捗管理
2. 創立90周年事業の検討・準備

3. 各種助成金、補助金、収益事業及び外部資金の積極的な獲得
4. The University Dining の運営
5. The University HUB 運営開始
6. モニタリング室による内部統制の継続的な点検・評価

施設・設備等

1. 瑞穂会館改修工事
2. 7号館空調更新工事
3. 付属高等学校の校舎建替えに向けた検討
4. 西門駐車場拡張工事
5. サニーヒルズ改修工事
6. 合宿所空調更新工事
7. アリーナ照明更新工事（LED化）
8. 屋上防水更新工事（2, 3, 4, 5号館）
9. 大学屋外プール安全対策工事
10. 瑞穂会館改装に伴うネットワーク基盤整備
11. 学務及び人事システム更新
12. 一般教室 AV システム・プロジェクター整備

以上